

中津川市「合計特殊出生率」の推移

	自治体名等	H27	H28	H29	H30	R1
合計特殊出生率	中津川市	1.74	1.50	1.65	1.63	1.58
	恵那市	1.52	1.39	1.45	1.56	1.39
	多治見市	1.39	1.33	1.32	1.30	1.22
	土岐市	1.41	1.37	1.41	1.27	1.30
	瑞浪市	1.41	1.51	1.25	1.45	1.19
	岐阜県	1.56	1.54	1.51	1.52	1.45
	全 国	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36

※合計特殊出生率＝15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。

1人の女性が生涯に出産する子供の人数を表します。

住民出生数の推移 (※日本人のみ ※年度計)

	中津川	苗木	坂本	落合	阿木	神坂	山口	坂下	川上	加子母	付知	福岡	蛭川	合計
H24	228	61	113	23	14	7	12	37	6	18	37	53	17	626
H25	268	51	123	22	12	15	16	27	5	13	41	43	31	667
H26	254	41	110	15	8	4	9	39	7	12	33	43	16	591
H27	234	59	105	23	7	2	11	23	7	13	39	48	27	598
H28	238	30	100	15	13	4	13	29	2	10	23	47	22	546
H29	214	48	112	20	7	2	9	32	4	18	32	42	19	559
H30	186	42	107	19	9	5	12	28	5	11	27	37	18	506
R1	221	37	102	23	6	4	4	26	4	9	24	31	16	507
R2	158	35	72	15	12	2	8	15	4	9	34	29	11	404
R3	171	45	84	10	7	6	2	22	2	4	24	28	14	419

①障がいのある児童等の子ども・子育て支援事業等の提供体制

単位：人

	実績（年間）			見込み（年間）	
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
保育所・ 認定こども園	46	51	50	59	65

※令和3年度は調査中

提供：中津川市障がい者福祉計画（第6期）

②障害児通所支援（児童発達支援）サービス提供者数

単位：人

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	226	240	226	248	223
人口	3,617	3,479	3,332	3,127	2,975
割合	6.2%	6.9%	6.8%	7.9%	7.5%

注：利用者人数は各前年度末

令和4年度 中津川市幼児教育推進事業について

中津川市教育委員会

目的

- ・子供たちの発達や学びの連続性を保障するため、幼児教育、小学校教育について相互理解を深める。
- ・発達の見通しをもった質の高い保育・教育活動を推進するため、円滑な接続に向けての連携を強化する。

	取組	内容
1	連携協議会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整は小学校で行う。 ・年間3回以上(学期に1回)行う。(地域支援委員会等と兼ねて可) ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を見据え、ジョイントカリキュラムの確認をする。
2	子ども同士の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会、学習発表会、入学説明会、地域の実態に応じた活動等において、交流を行う。 ・各教科の出口の活動等において、交流する。 ・園外保育、遠足、日常的な活動等において、交流する。 ・年間2回以上行う。
3	教員と保育士の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・全校研究会、市教研等において、授業を参観し、研究を行う。 ・園教育長訪問において、小学校から保育参観、授業参観を行う。 ・小学校教員が、夏休み期間等を活用して保育参加を行う。 ・園だより、学校だよりの交流を行う。 ・年間2回以上行う。
4	特別支援教育の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域教育支援委員会を年間3回以上行う。(連携協議会と兼ねて可)</u> ・特別支援学級の授業参観、支援児の保育参観を行う。 ・関係機関との連携を図る。 ・個別の支援計画・指導計画の申し送りをする。
5	ジョイントカリキュラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・発達や学びをつなぐ視点での幼保小のカリキュラム。 ・幼稚園・保育園において、年長児の入学前1月～3月において取り組むことと、小学1年生の4～5月に取り組むことをつなげたカリキュラムとして、中津川市で統一している。 ・各園、学校職員で共通理解を図り、園児、児童の指導にあたる。 ・ジョイントカリキュラム(小学校版)は、1年生担任の週案に添付し活用する。
6	リーフレット「もうすぐ1年生」の作成・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前につけたい力について、園と学校で情報交流を行う。 ・各学校の取組の欄について8月19日までに修正する。 ・就学時健診、学校説明会において配付し、保護者に説明する。 ・リーフレットの内容について、全職員で共通理解を図る。

令和4年度 中津川市ジョイントカリキュラム (幼児教育と学校教育の円滑な接続を目指して)

幼児教育推進事業

幼児教育
 遊びを通して行う総合的な学び
学校教育
 教科書の学習を中心とした学び

学びの芽生えの時期から自覚的な学びの時期へ

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	生活する力	人とかかわる力	自ら学ぶ力
※幼児期の発達特性（何か特定の活動を経験させればできるよくなるというものではない）ことに留意 ※幼児期の自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されることが大切 <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">健康な心と体</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自立心</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">協同性</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">道徳性・規範意識の芽生え</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">社会生活との関わり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">思考力の芽生え</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自然との関わり・生命尊重</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">言葉による伝え合い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊かな感性と表現</div> </div>	A生活に必要な活動を自分でする。 1. 給食の仕方が分かる。 2. トイレの使い方が分かる。 3. 寒暖を感じて自分で衣服の着脱をする。 4. うがい、手洗いの意味が分かり、清潔に心がける。 B進んで戸外で遊ぶ。 1. 元気に外で遊ぶ。 C危険な場所や遊び方、災害時の行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。 1. 廊下を走らない。 2. 遊具を安全に使う。 3. 交通ルールを守る。 D自分で考え、自分で行動する。 1. 自分のことは自分で話す。（友達に言ってもらわない。） 2. 合図を聞いて自分から動く。 3. 身の回りの片付けや、準備が自分からできる。	E親しみをもって日常のあいさつをする。 1. 気持ちをこめて、「おはよう。」「ありがとう。」「ごめんなさい。」を言う。 2. 返事をする。 F約束やきまりの大切さに気付き、守ろうとする。 1. よいこと、悪いことが分かる。 2. ルールを守る。 3. 順番を守る。 G友達のよさに気付き、一緒に行動しようとする。 1. 友達の活動を待つ。 2. 時間を意識して動く。 H友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ。 1. 友達と誘い合って遊ぶ。	I先生や友達の話に注意して聞き、相手に分かるように話す。 1. 最後まで黙って聞く。 2. 質問は最後にする。 3. 座って聞く。 J感じたこと、考えたことなどを自由に表現する。 （言葉・絵・造形・音・動き） 1. 自分の思いや考えをみんなの前で話す。 2. 感じたこと、考えたことを話や絵で表現する。 K友達と楽しく活動する中で共通の目的を見いだし、工夫したり、協力したりする。 1. 集団の活動で一緒に取り組み、友達と喜び合える。 2. 手先を使った遊びを友達と楽しみ伝え合う。 L生活の中で文字や数量に関心をもつ。 1. 読み聞かせを聞く。 2. 活動の際に、人数や物の数を数える。

ゼロからのスタートではない

教科等	健やかな体	豊かな心	確かな学力
<div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国語</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">算数</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生活</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">音楽</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">図工</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">体育</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">道徳</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">特活</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">その他</div> </div> <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;"> 幼保小連携協議会で 交流した内容を蓄積 </p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新1年生の子供の姿から ○年長児の姿から ○幼児期の終わりまでに育ってほしい姿から ○年長児の入学前1～3月の取組から ○小学1年生4・5月の取組から ○「もうすぐ1年生」リーフレットに関わって等 	○新しい環境に適応していく力 ・自分のことは自分です。 ・安全に気を付けて行動する。 ・元気に遊ぶ。	○人間関係を作っていく力 ・家族、仲間、先生との温かい関わりを通して、相手を思いやる気持ちをもつ。 ・仲間と共通の目的をもったり、約束やきまりを守ることの大切さに気付いたりする。	○興味・関心・意欲・能力など学習の基礎となる力 ・様々なことに興味・関心をもつ。 ・仲間と試したり、確かめたりして工夫し、新たな発見や考えをもつ。 ・相手の話を聞き、内容を理解して言葉による伝え合う。
	A 学習に必要な情報を積極的に取り入れることができる。 B 運動遊びや休み期間などの外遊びを通して、伸び伸びと行動することができる。 C 安全に気を付けて学校生活を送ることができる。 D 自分でできることは自分でしようと積極的に取り組んだり、生活や学習での課題を自分のこととして受け止めたりして意欲的に取り組むことができる。	E 自分たちの生活に関わりのある人を選んで挨拶をする。 F ルールをつくったり守ったりして学校生活を楽しくしていこうとする。 G 目的に向かって自分の力を発揮しながら友達と協力し、様々な意見を交わす中で新しい考えを生み出し、協力して取り組むことができる。 H 相手の状況や気持ちを考えながら人と関わることを楽しむことができる。	I 学習の中で発見したことや、できるようになった喜びを言葉で表現することができる。 J 学習に興味や関心を持ち、疑問に思ったことに対して主体的に解決しようとする。 K 音楽や造形、身体等による表現など、自分の気持ちや考えを、自信をもって表現することができる。 L 数量や図形、標識や文字などを使った学習に関心をもって取り組むことができる。

令和3年度ジョイントカリキュラム実績(学校)

NO	校名	取組	成果
1	南小	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携協議会(3月1日予定) ・園児と児童(低学年)との交流 ・随時、園職員と園児や卒園生、兄弟関係の情報共有 ・健診や施設利用の行事調整 ・幼小合同「命を守る訓練」 ・特別支援教育の連携や支援児の様子を随時交流 ・ジョイントカリキュラムの実施 ・リーフレット「もうすぐ1年生」の活用(入学説明会) 	<p>取組が制限される中で、幼稚園との交流の仕方を工夫したことで、幼稚園と継続して園児や児童の理解につとめることができた。</p> <p>また、園児との交流を通して、発達段階に合わせた小学校の教育や指導の在り方について考えることができた。</p>
2	東小	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育支援委員会の実施 ・教員と保育士の交流 ・教員の保育体験(水遊び・鬼ごっこ等) ・児童(5年生)と園児(年長児)の交流(5年生から手紙とプレゼントを送る) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、地域教育支援委員会を3回行い、児童や園児の様子を交流したり、要支援園児についての共通理解を図ったりすることができた。 ・教員が保育に関わり、幼稚園での生活や園児の様子を知ることができた。
3	西小	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携協議会(地域教育支援委員会)1回(コロナ禍のため予定回数実施できなかった。) ・5年生児童から年長園児への手作りおもちゃと入学祝いメッセージのプレゼント。 ・園児と教員の交流(西小へ散歩・園児から教員へチューリップの球根のプレゼント) ・リーフレット「もうすぐ1年生」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携協議会では、各園と学校の取組を交流するだけでなく、共通の課題について話し合うことができた。また、個別に入学後の支援について引き継ぐことができた。 ・リーフレットやチャレンジ7を入学説明会に活用し、入学までにやるべきことについて共通理解を図ることができた。
4	苗木小	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科の学習や半日入学での交流の代わりに、小学校生活を紹介するプレゼンテーションを作成して配付、各園にて園児に紹介した。 ・ジョイントカリキュラムを実施した。「チャレンジ7」の取組 ・リーフレット「もうすぐ1年生」を配付した。 ・小、中学校職員が保育園を参観し、園児について情報交換を行った。 ・発達支援センター「つくしんぼ」に通う園児の保護者と指導者による、特別支援学級見学を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止から人が集まる活動に代えて、訪問や電話による園児の様子や保育内容についての情報交換を行った。
5	坂本小	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携協議会の開催 ・地域教育支援委員会の開催 ・12年目研修での教員と保育教諭の交流 ・ジョイントカリキュラムの実施 ・リーフレット「もうすぐ1年生」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携協議会にて、園の先生方に就学した児童の様子を参観していただき、その後、協議を行った。園とのつながりのある指導について確認をしたり、コロナ禍での活動の課題や工夫について話し合ったりすることができた。 ・地域教育支援委員会で、各園から発達に関わり気になる園児についての情報を提供していただき、その後、実際に観察をしに行くことができた。幼児の個々の特性について理解を深め、有効な支援を確認することができた。 ・今年度、12年目研修を受講する教員の研修の場として、坂本こども園の協力をいただいた。5歳児クラスを中心に研修させていただき、園での学びや小学校とのつながりを学ぶことができた。 ・ジョイントカリキュラムに応じて、幼児教育・保育を意識した遊びを生かした指導を行った。園から学校へのつながりがスムーズになるよう週時程の工夫を行った。 ・入学説明会の際に、リーフレット「もうすぐ1年生」を配付し、園と学校のつながりについて説明した。園で育まれた3つの力が、小学校の生活でも生かされていくことをリーフレットを使って示し、見通しをもっていただいた。
6	落合小	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携協議会 ・ジョイントカリキュラムの実施 ・リーフレット「もうすぐ1年生」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携協議会をもち、小学校へ上がる前の児童の様子と、小学校での活動の様子を比べ意見を交流することで、児童一人一人の理解を深めることができた。 ・ジョイントカリキュラムのチャレンジ7の取組や授業案に沿った活動をすることで、小1プロブレムを起こすことなく、授業や生活に集中することができた。 ・リーフレットの活用をすることで、1日の生活リズムを早くに身につけることができた。

7	阿木小	<ul style="list-style-type: none"> ・保小引き継ぎ会 ・保小教育支援委員会の開催 ・園児と1年生児童との交流 ・小学校職員による保育参観 ・ジョイントカリキュラムの実施(チャレンジ7) ・リーフレット「もうすぐ1年生」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度担任した保育士が入学式前に新入学生の子どもの姿を、小学校教諭に伝えたことで、スムーズな接続を図ることができた。 ・ジョイントカリキュラムを活用し、4月、生活科「学校探検」と国語、図工を連携させた授業を行った。学校探検で見つけた場所の色を塗ったり、見つけた場所を友達に伝えたり、職員室にいる先生方にインタビューをしたりする中で、楽しく学校のことを知ったり場所に慣れていったりした。 ・保小中支援委員会を2回開き、園、ありんこキッズ職員、市教委の方から詳しい情報や支援方法交流し理解を深めることができた。
8	神坂小	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小中連携協議会 ・幼小中調整会 ・教職員の交流 ・地域教育支援委員会 ・リーフレット「もうすぐ1年生」の活用 ・合同「命を守る訓練」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小中連携協議会を年に6回行い、生活面で大切にしている取組、学習面で力を入れていきたい点について交流を行い、12年間を通じて「神坂の子」を育てていく意識をもつことができた。 ・地域教育支援委員会を年に3回行ったり、互いの授業を教員が見合ったりすることで、児童理解を深めたり、継続した支援を考えたりすることができた。 ・合同で取り組む行事を行うことにより、小学校生活を具体的にイメージする場につながった。(園)
9	山口小	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援等に係る要配慮園児・児童についての継続した連携を進める。 ○新1年生の成長した姿を園児に示す機会をできるだけ多く設定し、自信をもたせたり、小学校生活への期待感や憧れをもたせたりする。 ・運動会共同開催 ○言語活動を充実させ、「自分の考え(こと)を伝えられる子」を継続して育む。同時に他者の話を聞く態度を育む。 ○遊び、あいさつを通して、他者と共生していくための基盤を育む。 ○体を動かす活動に目標をもって挑戦する場や、体の諸部位を楽しみながら動かす場を意図的に設定し、適切な運動発達を促進する。 ○チャレンジ7、リーフレットを活用し、小学校生活への適応を図る。 ○やさか地区地域教育支援委員会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが、運動会での交流や児童や園児の様子との交流が行え、理解を深めることができた。 ・やさか地区地域教育支援委員会では、坂下中学校区全体での子ども理解ができた。
10	坂下小	<ul style="list-style-type: none"> ・やさか地区教育支援委員会(年2回) ・「チャレンジ7」の実施…入学説明会で見届け ・職員の保育園参観 ・リーフレット「もうすぐ1年生」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・やさか地区教育支援委員会において、園児・児童・生徒の様子を交流することを通して、第1回は入学した子の成長や新しい学校への適応状態を確認することができた。第2回は特別支援教育の連携として、十分な情報交換ができた。 ・2学期中に小学校職員が保育園へ参観に行くことで、園での過ごし方を理解し、小学校での課題などを把握することができた。 ・コロナ禍で園児と児童との交流はできなかったが、1年生は入学説明会までに、手紙とあさがおの種のプレゼントを用意し、入学を祝う気持ちを表すことができた。
11	川上小	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の連携(地域教育支援委員会) ・子ども同士(園児と児童)の交流 ・ジョイントカリキュラムの実施(チャレンジ7等) ・リーフレット「もうすぐ1年生の」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の地域支援委員会では、開催月までの情報を交流でき、就学時健診や半日入学などの児童支援に役立てることができた。 ・入学後から、生活や学習に慣れるために、合科化を進めてきた。教室で体を動かしながら徐々に静座時間を長くすることができた。また、挨拶や早寝早起き朝ご飯等は保育園の指導のあり、入学後の生活のリズムを崩すことなく元気に過ごした。 ・入学説明会ではリーフレットを活用することで、保護者に学校の様子が伝わりやすかった。入学説明後に園に持参し、話題にしてもらうことで学校生活の不安感解消に繋がった。
12	加子母小	<ul style="list-style-type: none"> ○保小連携協議会(4・6・9月) ○地域教育支援委員会(6・9月) ○保小中合同引渡訓練(5月) ○保小中合同エビペン研修会(8月) ○保小中合同不審者対応訓練(11月) ○ジョイントカリキュラムの実施 ○リーフレット「もうすぐ1年生」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の地域教育支援委員会や保小連携協議会により、児童や園児の様子との交流や教育・保育内容の交流を行い、理解を深めることができた。 ・小学校からの園訪問により、年長児を中心に支援を要する園児の実態を把握し、就学や支援について検討することができた。 ・合同で引渡訓練、エビペン研修、不審者対応訓練を行うことにより、地域全体で児童や園児の命や安全を守るための意識を高め、連携の仕方を確認することができた。

13	付知北小	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども同士の交流 ・1年生から年長児へ、メッセージとどんぐりごまのプレゼント ○特別支援教育の連携 ・地域教育支援委員会にて年長児についての情報共有 ○ジョイントカリキュラムの実施 ・チャレンジ7の活用(校長が園を訪問) ○リーフレット「もうすぐ1年生」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育支援委員会や園訪問を通して、入学予定園児の様子や要支援児へのサポートのしかた等、教育・保育についての交流を行い、理解を深めることができた。 ・1年生からのプレゼントやチャレンジ7のシール等、方法を工夫して実施したことで、園児の入学への気持ちを高めることができた。
14	付知南小	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の連携 付知町内教育支援委員会 特別支援コーディネーターによる保育参観 ・就学時健診前の児童の情報共有 ・チャレンジ7の実施と校長による見届け ・1年生の児童が新1年生へのプレゼントをつくり、入学に向けて交流 ・半日入学での「もうすぐ1年生」の活用 ・年長園児の小学校訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育園との情報共有や付知町内教育支援委員会を行い、配慮が必要な児童の理解を進めた。コロナ感染拡大のため、半日入学が実施できなかったが、校長が両園を訪問しチャレンジ7の認めを行ったことで、小学校入学に向けての意識づくりをすることができた。
16	下野小	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の連携(地域教育支援委員会、発達支援センターどんぐり／つくしんぼの担当者・保護者との懇談) ・ジョイントカリキュラムの実施(チャレンジ7) ・リーフレット「もうすぐ1年生」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡中学校区の幼保小教育支援委員会をもち、児童や園児の様子の交流や教育・保育内容の交流を行い、理解を深めることができた。
17	福岡小	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中連携協議会(福中校区教育支援委員会) ・リーフレット「もうすぐ1年生」の活用 ・チャレンジ7の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・福中校区教育支援委員会は年3回計画し2回実施(3回目はコロナまん延防止重点措置の適用があり中止)し、園や学校間の情報交換のみならず、発達支援センターからの情報や助言もあり、連携したと陸を行うことができた。 ・入学説明会においてリーフレットを活用し、保護者に説明することができた。 ・コロナ感染防止のため、入学説明会に園児は参加できなかったが、保護者にシールを配布し、頑張りを親子で認め合える場をつくることができた。
18	高山小	<ul style="list-style-type: none"> ・園児と1年・5年児童の交流(2月末に予定) ・小学校職員の保育園参観(3月に予定) ・福岡中学校区教育支援委員会の実施 ・ジョイントカリキュラムの実施 ・チャレンジ7取組に対する認め励まし ・リーフレット「もうすぐ1年生」の活用(入学説明会にて) ・新入学児童の保護者面談(希望者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡中学校区教育支援委員会(保小連携協議会を兼ねる)を2回実施し、児童や園児の様子と情報の交流に加え、教育・保育内容の交流を行い、お互いに理解を深めることができた。 ・小学校入学に不安を抱く園児の保護者に小学校に来校していただき、面談した。園児の様子や不安な点について話を聞き、小学校としてできることと、いつでも連絡をもらえれば相談に乗れることを伝え、安心していただいた。 ・園児との交流に向けた準備を通して、5年生は最上級生になるという、1年生はお兄さん、お姉さんになるという意識に向上が見られるようになった。
19	蛭川小	<ul style="list-style-type: none"> ◆蛭川地区学校評議員会の実施 ◆蛭川地区教育支援委員会(兼保小中連携協議会)の実施 ◆ジョイントカリキュラムの実施(チャレンジ7) ◆リーフレット「もうすぐ1年生」の活用(就学時健診, 入学説明会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も子ども同士の直接的な交流はできなかったが、保小中の連携会議は年2回開催した。今年度は要支援児童園児について進学後の動きなどを丁寧に交流する機会となった。3回目は、実際に保育参観を行い、入学児童の様子を見たり引き継ぎを行ったりすることができた。 ・「チャレンジ7」の取組やリーフレットは、就学時健診や入学説明会を機に活用することができた。